

Ⅳ. ダクトの材料

ダクト材料は、次の素材が上げられる。

- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 亜鉛鉄板
(ガルバリウム、アルジंक鋼板) 2. 鋼板 3. ステンレス鋼板 4. 塩ビライニング 5. グラスウールボード 6. 塩化ビニール板 7. ダクトの付属材 | 一般空調ダクト、換気ダクト
塩害対策、腐食空気の排気
防火ダクト
意匠、塩害対策、腐食空気の排気
塩害対策、腐食空気の排気
低圧空調ダクト
塩害対策、腐食空気の排気 |
|---|--|

ダクトは鋼板で形成され、型鋼で補強、及び接続されている。在来のアングル工法は殆どが亜鉛鉄板とアングル鋼材により製造されて来たが、ダクトの工法やダクトの仕様目的の違いから、耐食性に優れたガルバリウム（アルジंक）鋼板やステンレス鋼板、防錆・防カビの処理を施した塩ビ被覆鋼板が使用されるようになった。

塩ビ被覆鋼板には、亜鉛鉄板に塩化ビニールのフィルムを貼り付けたタイプと、塩化ビニールを溶着したタイプがあるが、性能、加工性共に変わりはない。

鋼板は建物の防火区画の部分のダクトに使用されて来たが、最近ではボンデ鋼板や亜鉛鉄板でも価格差がなくなった事と防錆処理（塗装）の関係もあり、あまり使用されなくなった。

グラスウールボードダクト及び塩化ビニール板ダクトについては、本書に於いては取り上げない。

1. 亜鉛鉄板

平板の寸法と標準質量 (JIS G 3302)

大きさの呼び方	3×6	
長さ (mm)	1829	
幅 (mm)	914	
標準厚さ (mm)	S	W
0.30	2.599	4.35
0.40	3.384	5.66
0.50	4.169	6.97
0.60	5.015	8.39
0.80	6.585	11.0
1.00	8.155	13.6
1.20	9.801	16.4
1.60	12.94	19.0

(注) S:1㎡当りの質量 (kg) W:1枚当たりの質量 (kg)

亜鉛の標準付着量と標準厚さ (JIS G 3302)

原版の標準厚さ (mm)	亜鉛の呼び付着量・記号 (g/㎡)	244	305	381
		Z.18	Z.22	Z.27
0.30		○		
0.40		○		
0.50		○		
0.60			○	
0.80			○	
1.00			○	
1.20				○
1.40				○
1.60				○

(注) 亜鉛の付着量は板の両面に付着した量である。

コイルの寸法と標準長さ

標準厚さ (mm)	幅 (mm)	2トンコイル概略長さ (m)	5トンコイル概略長さ (m)
0.50	1829	260	655
0.60	"	220	545
0.80	"	170	416
1.00	"	140	336
1.20	"	120	279
1.60	"	85	—